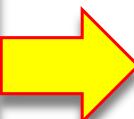


PPI (Patient and Public Involvement) に向けた 日本癌学会での取り組み

日本癌学会とは？

1941 (昭和16年) 創立のがん研究の発展を図る
学会。日本医学会/日本医学会連合の基礎部会所属。

日本癌学会での取り
組みは？



より基礎的ながん研究も、
がん医療の発展には欠かせない

がんの基礎研究を支援してくれる
がん研究アドボケート育成は必要



日本癌学会サバイバー・科学者プログラム
(JCA-SSPプログラム) の設立へ

日本癌学会 サバイバー・科学者プログラム (JCA-SSP) (2015年にトライアルを開催)

目的：がんとの闘いを加速するために、サバイバー・患者会リーダーと科学者の
パートナーシップを作る。

AACR American Association for Cancer Research® 米国癌学会

IN THIS SECTION

PATIENT ADVOCATE EVENTS

SCIENTIST↔SURVIVOR PROGRAM®

NEWSLETTER: ADVOCACY ALERT

BUILDING BRIDGES FOR PROGRESS AGAINST CANCER

EDUCATION AND RESOURCES

The AACR Scientist↔Survivor Program® is designed to build enduring partnerships among the leaders of the scientific, cancer survivor, and patient advocacy communities worldwide. The program provides advocates with special lectures using lay language, small group discussions, and other opportunities for the exchange of information on key aspects of cancer research, survivorship, advocacy, and public policy.

SCIENTIST↔SURVIVOR PROGRAM®

<https://www.aacr.org/patients-caregivers/patient-advocacy/scientist-survivor-program/> (AACR HP) より引用/改変

日本癌学会 サバイバー・科学者プログラム (JCA-SSP) (2015年にトライアルを開催)

目的：がんとの闘いを加速するために、サバイバー・患者会リーダーと科学者のパートナーシップを作る。

米国癌学会 (A A C R) では1999年に、世界中の科学者、がんサバイバーや患者支援団体のリーダーが集うがん研究コミュニティの構築を目指し、「科学者↔サバイバープログラム (S S P)」が創設された。米国癌学会では、がん研究者とサバイバーが相互に有益な情報交換の場をつくることでパートナーシップを醸成し、がん研究を支援するサバイバーや患者支援団体のリーダーを育成して公共政策の重要な側面の理解を深めるなど、国を挙げたがん研究に取り組む環境育成を進めてきました。

がん研究の現状、課題を理解し、**がん研究を支援するアドボケートを育成するためのプログラムを日本で開始する**にあたり、患者支援団体の有志にモニターとして第74回日本癌学会学術総会に参加体験していただき、そのフィードバックから、次年度以降のSSPプログラムの拡大に繋げることを目的とする。

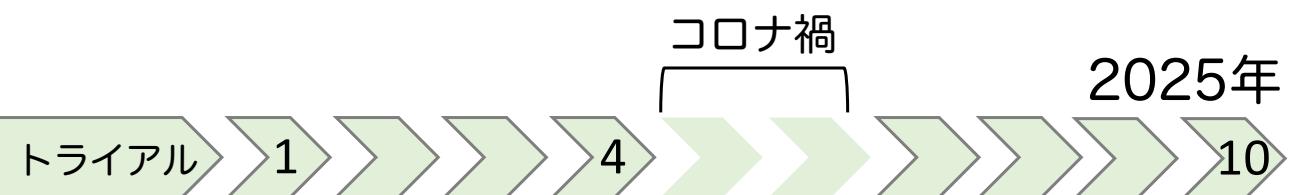
日本癌学会では、S S Pプログラムを進めることで、がん研究の分野におけるがんサバイバー・患者支援団体リーダーと科学者との協働を深め、がん研究の成果をより迅速にがん患者に届け、国を挙げたがん研究の進展につながることを目指して、まずは2015年にトライアルを開催した。

日本癌学会 サバイバー・科学者プログラム (JCA-SSP) の変遷

SSP プログラム トライアル
(第74回日本癌学会学術総会時)

日時：2015年10月8日-10日
会場：名古屋国際会議場4号館3階
アドボケートメンター

眞島喜幸、天野慎介、桜井なおみ
サイエンティフィックメンター
野田哲生(委員長)、矢野聖二、
馬場英司、藤田直也



天野慎介、桜井なおみ、眞島喜幸

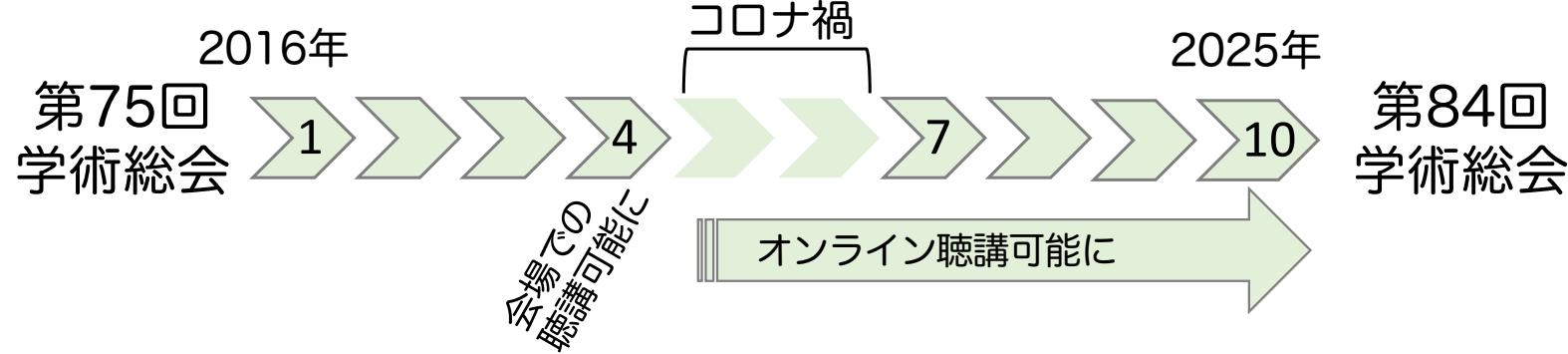


(一社) 全国がん患者
団体連合会

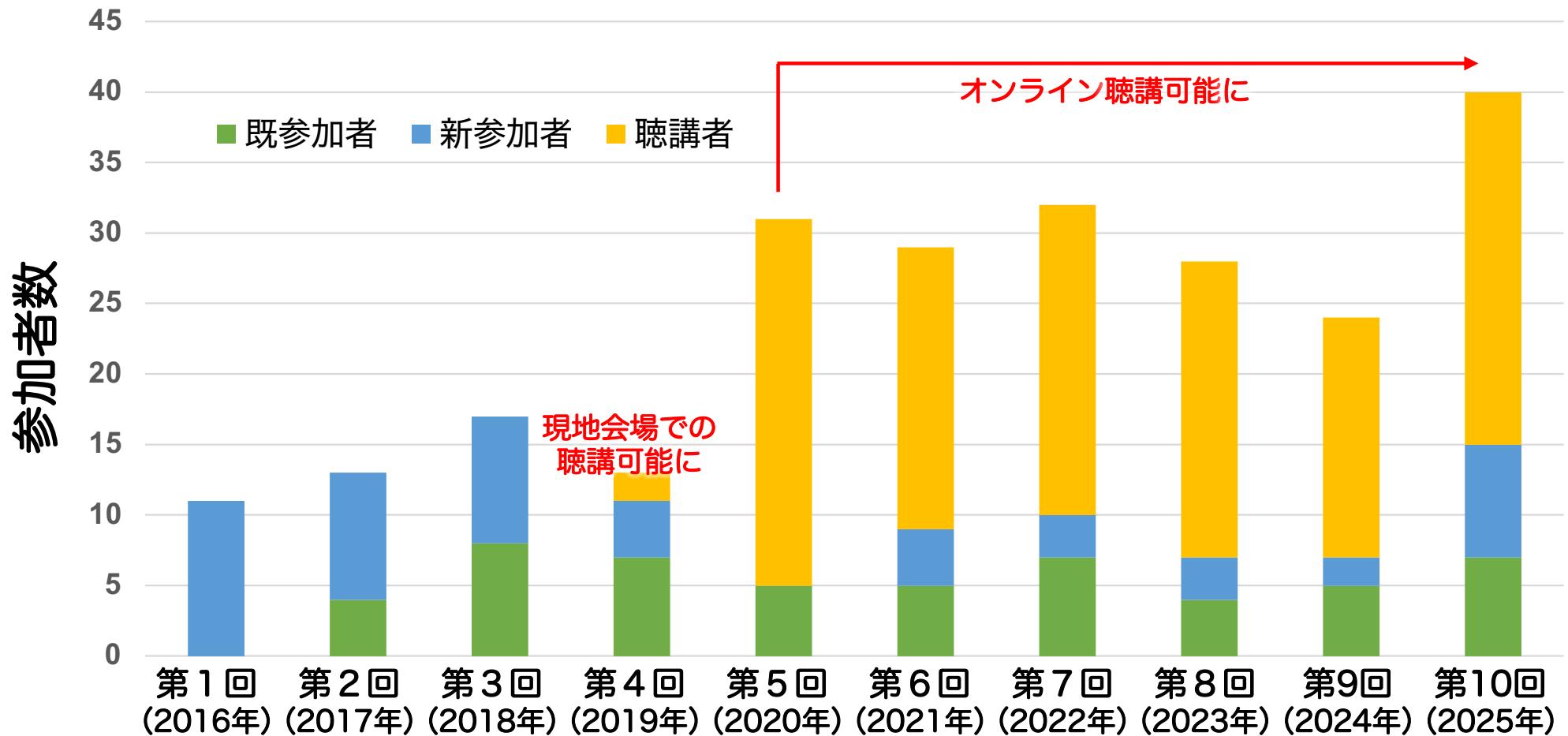
(株) キャンサー
ソリューションズ

(NPO) パンキャン
ジャパン

日本癌学会 サバイバー・科学者プログラム (JCA-SSP) の変遷



日本癌学会 S S P 参加者数の推移



日本癌学会SSPの開催スケジュール

- アドボケートメンター(3名→5名)

眞島喜幸、桜井なおみ、天野慎介

大西裕之 (第4回より)、馬上祐子 (第6回より)

- サイエンティフィックメンター

委員長：野田哲生 (第1回～第4回)、

畠山昌則 (第5回～第8回)

藤田直也 (第9回～第10回)

委員：3～5名 (テーマによって変動)

基礎講座講師：6～7名 (最新研究の話題について)

第10回JCA-SSP 2025年 (第84回学術総会時) 講師

眞田昌先生、富樫庸介先生、

野田哲生先生、中田光俊先生、

絹谷清剛先生、矢野聖二先生

1日目

- ↓ アドボケートメンターによるオリエンテーション
- ↓ 挨拶など
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 1～2
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 3

2日目

- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 4～5
- ↓ アドボケートメンターとのグループセッション
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ ポスターセッション
- ↓ 名誉会員・評議員合同懇親会への参加

3日目

- ↓ SSP基礎講座 6
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ グループプレゼンテーションの準備
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ グループプレゼンテーション
- ↓ 修了証授与式・閉会式

日本癌学会 第10回SSPプログラム（第84回日本癌学会学術総会時）

開会式ご挨拶（大島会長）



参加者の皆さんと共に



開会式ご挨拶（Dr. Foti）



会場風景



1日目

- ↓ アドボケートメンターによるオリエンテーション
- ↓ **挨拶など**
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ **SSP基礎講座 1～2**
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ **SSP基礎講座 3**

2日目

- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ **SSP基礎講座 4～5**
- ↓ アドボケートメンターとのグループセッション
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ ポスターセッション
- ↓ 名誉会員・評議員合同懇親会への参加

3日目

- ↓ **SSP基礎講座 6**
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ グループプレゼンテーションの準備
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ グループプレゼンテーション
- ↓ 修了証授与式・閉会式

日本癌学会SSPの開催スケジュール

- アドボケートメンター(3名→5名)

眞島喜幸、桜井なおみ、天野慎介

大西裕之 (第4回より)、馬上祐子 (第6回より)

- サイエンティフィックメンター

委員長：野田哲生 (第1回～第4回)、

畠山昌則 (第5回～第8回)

藤田直也 (第9回～第10回)

委員：3～5名 (テーマによって変動)

基礎講座講師：6～7名 (最新研究の話題について)



1日目

- ↓ アドボケートメンターによるオリエンテーション
- ↓ 挨拶など
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 1～2
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 3

2日目

- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 4～5
- ↓ アドボケートメンターとのグループセッション
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ **ポスターセッション**
- ↓ 名誉会員・評議員合同懇親会への参加

3日目

- ↓ SSP基礎講座 6
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ グループプレゼンテーションの準備
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ グループプレゼンテーション
- ↓ 修了証授与式・閉会式

日本癌学会

第10回SSPプログラム（第84回日本癌学会学術総会時）

グループプレゼンテーションのテーマ

- ・腫瘍内免疫微小環境を標的とした治療法開発
- ・がんの早期発見・術後再発の早期予測に向けたがん診断技術の進展

サイエンティフィックメンター：

眞田昌先生、富樫庸介先生

アドボケートメンター：

天野慎介、大西啓之、桜井なおみ、眞島喜幸、馬上祐子

グループプレゼンテーションの準備など



1日目

- ↓ アドボケートメンターによるオリエンテーション
- ↓ 挨拶など
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 1～2
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 3

2日目

- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 4～5
- ↓ アドボケートメンターとのグループセッション
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ ポスターセッション
- ↓ 名誉会員・評議員合同懇親会への参加

3日目

- ↓ SSP基礎講座 6
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ グループプレゼンテーションの準備
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ グループプレゼンテーション
- ↓ 修了証授与式・閉会式

日本癌学会 第10回SSPプログラム（第84回日本癌学会学術総会時）

グループプレゼンテーション①



グループプレゼンテーション③



グループプレゼンテーション②



修了証書を授与された皆さんと共に



1日目

- ↓ アドボケートメンターによるオリエンテーション
- ↓ 挨拶など
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 1～2
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 3

2日目

- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ SSP基礎講座 4～5
- ↓ アドボケートメンターとのグループセッション
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ ポスターセッション
- ↓ 名誉会員・評議員合同懇親会への参加

3日目

- ↓ SSP基礎講座 6
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ グループプレゼンテーションの準備
- ↓ 学術総会の聴講
- ↓ グループプレゼンテーション
- ↓ 修了証授与式・閉会式

日本癌学会SSPへの参加のお誘い

日本癌学会のSSPでは、

- 参加者（3日間の現地参加）と聴講者（オンライン参加者）を毎回募集しています。
- 参加者には、交通費・宿泊費の助成、参加費無料、ランチ無料（総会のランチョンセミナーへの参加はできません）、全体懇親会費参加無料となっています。3日間のプログラム参加者には修了証をお渡ししています。
- 聴講者は、SSP基礎講座とポスター発表とグループプレゼンテーションの聴講は可能ですが、総会プログラムには参加できません。
- 参加者は全体で20名程度とおり、そのために初参加は10名程度とあります。聴講者は10名程度となっていますが、応募者多数の場合は聴講者数を拡大する方向で考えています。

日本癌学会では、がん医療の発展に欠かせないがんの基礎研究を支援していただけるリサーチアドボケートとして活躍くださる人を1人でも多く育成したいと考えておりますので、どうぞ奮ってご参加ください。

第84回 日本癌学会学術総会

The 84th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association

■ サバイバー・科学者 プログラム（略称 SSPプログラム）

■ 日時

2025年9月25日（木）～27日（土）

■ 会場

参加者

ANAクラウンプラザホテル金沢
〒920-8518 石川県金沢市昭和町16-3

※ 今後の感染状況により、開催方法をWEB開催へと変更する場合がございますこと、ご了承ください。

参加者（現地参加）

オンライン会場

■ 参加費

無料（現地参加者には旅費交通費の助成があります）

■ 目的

がん患者や家族を支援する団体運営者または個人が、日本癌学会学術総会への参加を通じてがん研究に関する理解を深めることで、がん研究に対してがん患者や家族の立場から参画する「リサーチ・アドボケート」が養成されること。また、リサーチ・アドボケートとがん研究者が協働してがん研究の推進を図ることで、がん医療の向上に寄与すること。

■ 概要

SSPプログラム参加者は第84回日本癌学会学術総会において、SSPプログラムの受講、プログラムセッションの聴講、ポスターの閲覧、並びにあらかじめ指定されたテーマによるポスター掲示・発表ができます。また、学術総会参加費の免除、学術総会参加に伴う旅費交通費の助成が行われるとともに、プログラム修了者には修了証が授与されます。